

支援の手だてリスト(具体例)

		② 書き写そう	
		文章を見て書き写す力	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
4	指示の出し方	9) ・話を聞くととき、書くときなどの活動を明確に示す	9) ・話を聞きながらノートをとることが難しい児童生徒に対しては、聞くととき、書くときの活動時間をできるだけ明確に分ける
5	教材・教具	10) ・鉛筆の濃さ、太さなど児童生徒が扱いやすい用具・道具を使わせる ・書きやすいペンや鉛筆、消しやすい消しゴムを使わせる 11) ・板書と同じプリントを用意する ・ワークシートやワードプロセッサなどを活用する	10) ・三角形の鉛筆や鉛筆にはめるツール、指にはめるツールなど、書きやすくするための支援ツールを活用する 11) ・手元に板書と同じ手本を置く
6	板書の工夫 ノート指導	12) ・漢字の部首を色チョークで色分けする 13) ・マス目ノートと併用することにより、マス目の中にきちんと書くことを意識させる 14) ・枠や色チョーク、アンダーラインなどを活用し大事なところは強調する ・指示棒やレーザーポインタを使って注目させる ・コンピュータやプロジェクタを活用し、大事などころに注目しやすいように工夫する 15) ・授業の流れが分かりやすい板書をする ・同じ教科ではある程度パターン化した板書にする ・ノートをとるところを分かりやすく示す ・文字を大きくする ・1単位時間の内容が分かるように構造的に板書する 16) ・授業の中で書く活動の時間に配慮する ・書かせるところを囲むなど強調する 17) ・日付、見出し、囲み、下線、記号などノートの取り方について共通理解しておく ・漢字の部首への意識、文字の重なりを防ぐためにマス目を活用する 18) ・話を聞きながら書かせるのではなく、書くだけの時間を十分に確保する ・「〇時〇分まで」と黒板に書いて、伝える	16) ・板書をすべて書かせずに必要なところだけ書かせるようにする